

編 集 後 記

臨床神経学が2015年1月の55巻1号より完全電子ジャーナル化されるにあたり、これまでの臨床神経学の電子化事業の変遷について振り返ってみたいと思います。臨床神経学の電子ジャーナルが公開されたのは、2008年1月発刊の48巻1号で、それ以降、冊子体と並行しながら学会HP（主に学会員向け）と科学技術振興機構が運営するJ-STAGE（主に非会員向け）に掲載されてきました。又、J-STAGEとリンクする形でPubMedにもFull Textが掲載され、国際的に発信されてきました。

2010年4月より、電子投稿査読システム ScholarOne Manuscriptsを導入し、投稿数は初年度こそ伸び悩みましたが、翌年度には40編増と大幅に増加し、昨年度は163編と過去10年間での最高水準に達しました。郵便投稿の時代に比べると、投稿を受理してから採択されるまでにかかる日数も大幅に短縮され、新刊を遅れることなく発刊できております。

2012年5月の社員総会にて、3年後の2015年1月発刊の55巻から冊子体を廃止し、完全電子ジャーナル化することが承認されました。当初、希望者には有償で冊子体を

配付する方針でしたが、2014年3月にアンケート調査を行ったところ、冊子体を希望するのは全会員の3%と極めて少数であったため、有償冊子体の配付は廃止となりました。

冊子体に代わり、今後は電子ジャーナルが臨床神経学の「顔」となります。論文は会員以外にも一般公開されていますので、より多くの目に触れるよう進化が検討されています。現状ではFull TextをPDFで公開していますが、より検索されやすいスタイルであるXML形式への切り替えもその一つです。費用面やレイアウトが大幅に変わってしまう点など、臨床神経学誌にとってベストな選択肢であるか否か検討を重ねております。

完全電子化は投稿者にもメリットがあり、冊子体を廃止したことによりカラー印刷代が無料になります（これまでカラー画像1枚当たり30,000円の費用がかかっていました）。会員以外にも一般公開されるため、個人情報の保護が今まで以上に重要となってまいりますので、投稿規程を遵守し個人情報保護されていることを確認の上、投稿していただきたいと思います。

（荒木信夫）

〈編 集 委 員〉

編集委員長 鈴木 則宏 編集副委員長 河村 満
編集委員 荒木 信夫 飯塚 高浩 池田 昭夫 亀井 聡
瀧山 嘉久 西野 一三 野村 恭一 星野 晴彦
編集委員（幹事兼任） 園生 雅弘 高尾 昌樹 森 秀生

「臨床神経学」	第54巻 第10号	平成26年10月1日発行	
編 集 者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		一般社団法人日本神経学会
発 行 者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		高 橋 良 輔
印 刷 所	〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入		中西印刷株式会社

発 行 所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル
日 本 神 經 学 会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>